

記入例

様式第1号（第8条関係）

令和4年 月 日

広島県中小企業団体中央会

会長 伊藤 學 人 殿

所在地 広島県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号

名称（氏名） 株式会社〇〇〇〇

代表者名 〇〇〇〇 印

アフターコロナ対応経営革新推進事業補助金交付申請書

会社実印を
押印

アフターコロナ対応経営革新推進事業補助金交付要領第8条の規定によって、補助金の交付を申請します。

なお、事業計画及び関係書類においては、不正や偽造がないことを申し添えます。

1 補助対象経費	金	1,500,000円
補助金交付申請額	金	1,000,000円

税抜き金額を記入し
て下さい。

2 事業計画
経営革新計画に係る承認申請書のとおり

3 補助対象事業の内容及び補助対象事業に要する経費の配分
様式第1号（別紙1・2）補助対象事業計画書

※記入例であるため、各社の実情にあわせた記載として下さい。

記入例

様式第1号
別紙1

事業計画書

令和4年3月以降に承認された本事業で取り組む経営革新計画のテーマを記入して下さい。

事業者名 株式会社〇〇〇〇

1. テーマ IoTを活用した生産活動最適化及び生産性の向上

2. 経営革新計画の承認年月日：令和4年 〇月 〇日

経営革新計画別表2「実施項目」と本事業で取り組む内容が一致していること。

(※) 令和4年10月申請中の経営革新計画は申請日を記入して下さい。

3. 実施計画

区 分	内 容
実施項目	IoT生産管理・見える化システムの導入
実施予定時期	令和4年〇月〇日

区 分	内 容
実施項目	IoT生産管理・見える化システムの導入にかかる人材育成
実施予定時期	令和4年〇月〇日

(※) 経営革新計画別表2「実施項目」の内、本事業で取り組む項目を記入して下さい。

(※) 必要に応じて表を追加して下さい。

4. 具体的な内容

(※) 交付要領「第10条(審査基準)」を参照し要点を押さえて記入して下さい。

(※) 必要に応じて図表等を用いて、具体的に記入して下さい。

(※) 具体的な内容は、複数ページにわたってもかまいません。

本事業実施にあたり、社内・社外の実施体制や役割等を記載

1. 事業計画の実効性

【事業実施のための体制】

本事業実施にあたり、……で取り組む。

<社内実施体制>

担当者	役割
〇〇部 部長 〇〇〇	
経理課 課長 〇〇〇	
〇〇課 課長 〇〇〇	

<社外連携体制>

会社名	役割
(株)〇〇〇〇	

【事業実施に係るスケジュール】

本事業は、以下のスケジュールで実施し、〇月を目処に事業完了予定

<IoT 生産管理・見える化システムの導入>

取り組み内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
1. 〇〇〇〇〇	→						
2. 〇〇〇〇〇		→					
3. 〇〇〇〇〇				→			

<IoT 生産管理・見える化システムの導入にかかる人材育成>

内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
1. 〇〇〇〇〇				→			
2. 〇〇〇〇〇					→		
3. 〇〇〇〇〇						→	

【事業実施に係る資金調達】

事業実施に係る資金調達の見込みを記載

2. 事業計画の具体性

【計画の綿密性】

<IoT 生産管理・見える化システムの導入>

- 1. 〇〇〇〇〇
.....
- 2. 〇〇〇〇〇
.....
- 3. 〇〇〇〇〇
.....

上記の事業実施に係るスケジュールの
取り組み内容を説明

<IoT 生産管理・見える化システムの導入にかかる人材育成>

- 1. 〇〇〇〇〇
.....
- 2. 〇〇〇〇〇
.....
- 3. 〇〇〇〇〇
.....

【予算の適正性】

＜IoT 生産管理・見える化システムの導入＞

積算の明細	数量	金額	備考
〇〇〇〇費	1 式	800,000 円
〇〇〇〇費	1 式	200,000 円
計		1,000,000 円	
消費税		100,000 円	
総額		1,100,000 円	

＜IoT 生産管理・見える化システムの導入にかかる人材育成＞

積算の明細	数量	金額	備考
〇〇〇〇費	1 式	200,000 円
〇〇〇〇費	6 回	300,000 円	50,000 円/回×6 回
計		500,000 円	
消費税		50,000 円	
総額		550,000 円	

事業実施に係る補助対象経費の積算明細を記載。
 ※交付申請額の算定の根拠となる見積書の写しに積算の明細の記載があれば、この表に替えて「添付の見積書の通り」と記載としてもかまいません。

3. 事業計画の効果

【経営革新計画の目標達成に対する寄与度】

本事業の実施により、.....

想定する効果は以下のとおり。

想定される効果		計画前	1 年後	2 年後	3 年後	4 年後	5 年後
IoT 生産管理・ 見える化シス テムの導入効 果	〇〇作業量						
	労働生産性						

本事業の取り組みが経営革新計画の目標達成に
どの程度寄与するかを記載

5. ものづくり補助金への申請予定

有 無

(※) より多くの方に本事業をご利用いただくため、ものづくり補助金申請を予定されていない方を優先採択いたします。

ものづくり補助金への申請予定の有・
無いいずれかに○を付して下さい。

様式第1号
別紙2

収入・支出経費明細書

1 収入

区分	金額 (円)
自己資金	500,000
借入金・その他	0
補助金充当額 ①	1,000,000
合計 ②	1,500,000

税抜き単価で内訳を記入して下さい。

2 支出

区分	内容・必要理由	内訳 (数量×単価)	補助対象事業 に要する経費 (税込み：円)	補助対象経費 (税抜き：円)
機械装置 等購入費	IoT 生産管理・見える化システムの導入により、現場データの連携による生産性向上を図る。	1式×1,000,000	1,100,000	1,000,000
専門家 謝金	IoT 生産管理・見える化システムの導入にかかる操作研修	4回×125,000	550,000	500,000
			補助対象経費合計 (②と同額)	1,500,000
			補助金交付申請額 (①と同額)	1,000,000

交付要領 別表を参考に、該当する経費区分を記入して下さい。

税抜き単価で内訳を記入して下さい。

2頁の「3. 実施計画」にかかる内容とその必要理由を簡潔に記入して下さい。

3 確認事項

- (1) 上記の経費は、他の補助金に申請していません。
- (2) 上記の経費は経営革新計画に要する経費であり、その目的以外に使用しません。